

# 『長生都市経営フォーラム』

## 第9回 講師 子安美知子

早稲田大学 名誉教授

(株)ルドルフ・シュタイナー・モルゲンランド代表取締役



## 第9回

### ルドルフ・シュタイナー・モルゲンランド 「あしたの国」まちづくり計画について

平成8年12月に開発許可となった伊藤忠商事による70haの「長南町坂本・豊原地区宅地開発計画」は、バブル崩壊により断念されました。

この土地をほぼそっくり譲り受け、ルドルフ・シュタイナー・モルゲンランド「あしたの国」が建設されます。

このプロジェクトの特色は、「シュタイナー教育」を、幼稚園(保育園)から高校まで一貫して受けることのできる学園が建設されることです。本年10月24日、いよいよ文部科学省の基準に則った小学校の設置計画が承認されました。2008年4月に開校の予定です。ところで圏央道は、平成21年度

末には長南町まで開通すると言われていました。東京から1時間圏内になります。

本計画を資金的にバックアップする(株)生活科学運営は、シニアハウスなどの福祉マンションで実績のある企業であり、学園運営だけでは事業性が見込めないことから、元気な老人が豊かな時間を過ごせる、600戸、1,000人くらいの居住区を5年以内に建てる構想もあるようです。そこで得られる資金で学園建設を支えていく計画とあります。

シュタイナー教育、また、「あしたの国」まちづくり計画に関心をお持ちの、多くの皆様にお話を聞いていただきたいと思います。

## 第10回 講師 石井俊雄

長生村長



## 第10回

### 長生郡市市町村合併についての私の考え

国と地方の長期債務残高は827兆円にも上ります。

安倍内閣は地方分権改革推進法案を今国会に提出することを閣議決定し、新内閣での地方分権改革が動き出しました。

これまでの三位一体改革により国からの補助金や地方交付税が激減したことから、どの自治体も苦し

い財政運営を強いられています。長生村でさえ例外ではありません。「長生村行財政改革〈集中改革プラン〉」を見れば一目瞭然です。

今年12月末、千葉県は市町村合併第2ステージに伴う「市町村合併推進構想」を発表します。この構想で示される組合せは、長生郡市7市町村になることは、誰でも容易に想像できます。

いよいよ私たち住民は、これからの地方分権改革の行く末を思い、決断しなければなりません。合併しなくて本当にやっていけるのか。好むと好まざるとに関わらず、合併は避けて通れないものなのか。合併の早期実現のメリットを生かす必要はないのか。長生村の石井俊雄村長に、長生郡市のまちづくりと市町村合併について語っていただきます。

## 第9回

日時:平成18年11月19日(日)  
午後4時~6時  
(講演90分 自由討議30分)  
会場:茂原市総合市民センター  
4階 視聴覚室 (定員70名)  
参加費:無料

## 第10回

日時:平成18年12月2日(土)  
午後3時~5時30分  
(講演90分 自由討議60分)  
会場:茂原市総合市民センター  
4階 視聴覚室 (定員70名)  
参加費:無料

## 問合せ・参加申込み

問合せ:長生懇話会(大柿)  
090-2251-9197  
※18時以降にお願いします。  
申込み:氏名、連絡先をご記入の上、  
FAXにてお申込みください。  
FAX:0475-23-9499